

あなたの町の国有林

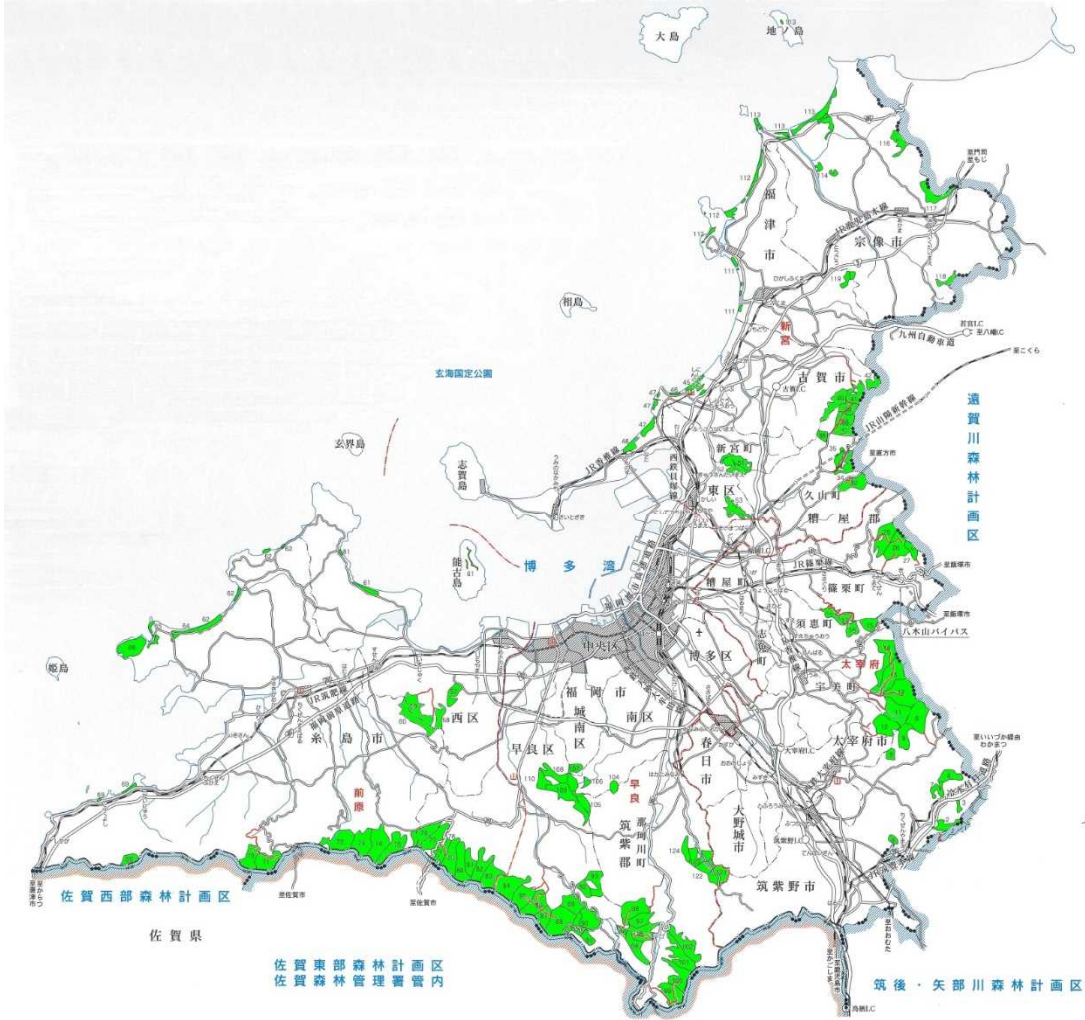
福岡流域における国有林野事業の取組



立花山 大クス

九州森林管理局 福岡森林管理署

福岡流域の位置図



福岡流域の概要

I 自然的背景

1 位置

福岡流域は、福岡県北西部に位置し、福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、那珂川市、古賀市、福津市、糸島市、及び筑紫郡、糟屋郡の10市1郡（7町）からなり、一部市町に離島を含む面積117, 189haの地域で、福岡県総面積498, 651haの24%を占めています。

流域の森林面積は50,945haで、森林率は43%となっています。国有林は7市2郡（6町）に所在し、三郡山団地、脊振山団地とこれらに介在する小団地で形成されており、面積7,751haで全森林面積の15%を占めています。

2 地勢

流域の山系としては、南部に雷山(955m)、脊振山(1,055m)、九千部山(848m)を連ねる脊振山系、東部に大根地山(652m)、三郡山(936m)、犬鳴峠を結ぶ三郡山系、東北部には城山(369m)、孔大寺山(499m)、湯川山(471m)を結ぶ孔大寺山系があり、西北部はすべて玄界灘に面しています。

主な河川としては、中央部では那珂川、室見川、多々良川、西部には瑞梅寺川等があり博多湾に注ぎ、北東部には釣川があり玄界灘に注いでいます。

3 気候

気候は、対馬海流の支流が流れる玄界灘に面しているため、年間を通し暖帯的要素が多いが、冬季は季節風の影響を受ける日本海型気候となっています。

過去10年間の年平均気温は約17℃で近年上昇傾向にあり、年間降水量は、平野部で1,700mm、山間部では、2,400mm程度となっています。

II 経済的背景

1 人口

流域の人口は、約2, 508千人であり、福岡県人口5, 102千人の約49%を占めています。これを人口密度で見ると2, 140人/km²であり、人口の集中度が極めて高い地域です。

2 交通網の状況

九州の交通の拠点として福岡空港、JR山陽・九州新幹線をはじめ、鹿児島本線、九州自動車道、西九州自動車道等が核となっています。さらに四方に延びるJR線、市営地下鉄、西鉄大牟田線等の鉄道網、都市高速道、国道3号線、その他主要地方道等の道路網が縦横に走っており、交通の至便な地域となっています。

3 産業の概要

福岡市を中心とした福岡都市圏は、その地理的条件から古来大陸との接点として政治、経済、文化の各分野にわたり開けてきたが、さらに近年の情報化社会の発展とともに、政府機関、金融、サービス機関を中心に九州最大の中核管理機能が集積する地域として発展しています。

観光資源は、海岸線をもつ豊かな自然や歴史的背景から全地域に広がり、森林を対象とした観光も年々増加し、保健休養の場を森林に求める要求も強くなってきているが、一方では都市部に立地していることから、森林地域への開発が急速に進展しつつあり森林の開発と保全との調和がもとめられているところです。

Ⅲ 国有林野の管理経営の基本方針

本流域の国有林の現況は、人工林を主体とした育成林が3,506ha、天然生林が4,039haとなっており、主な樹種として針葉樹では、スギ、ヒノキ、マツ類、広葉樹ではクヌギ、カシ類などとなっています。水源かん養保安林が全体の89%に達し、福岡市等の水がめとして重要な役割を担っています。また、その殆どが玄海国定公園及び脊振雷山県立自然公園に指定され、登山やハイキング等の森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されています。

このため、国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進に重点を置くとともに、近年、特に国有林に対する期待が大きくなっている地球温暖化の防止、生物多様性の保全等にも対応した管理経営を行うこととしています。

また、公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア、気象害防備エリア）、自然維持タイプ、森林空間利用タイプ、快適環境形成タイプ、水源涵養タイプの機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行うこととしています。

山地災害防止タイプ 2,639 ha

山地災害防止タイプは、土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、次の事項に留意して、保全対象と当該森林の位置的關係、地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえた適切な管理運営をおこなうこととします。

土砂流出・崩壊防備エリアでは、根系が深くかつ広く発達し、常に落葉層を保持し、適度に陽光が入ることによって下層植生の発達が良好な森林であって、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設等が整備されている森林を整備の目標とします。





自然維持タイプ

957 ha

自然維持タイプは、原始的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、原則として自然の推移に委ねるとともに、生物多様性の保全等に配慮した管理経営を行うこととします。

森林空間利用タイプ

399 ha

森林空間利用タイプは、スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの保健・文化的利用の形態に応じた管理経営を行うこととします。



快適環境形成タイプ

905 ha

快適環境形成タイプは、騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの機能に応じた管理経営を行うこととします。

水源涵養タイプ

2,871 ha

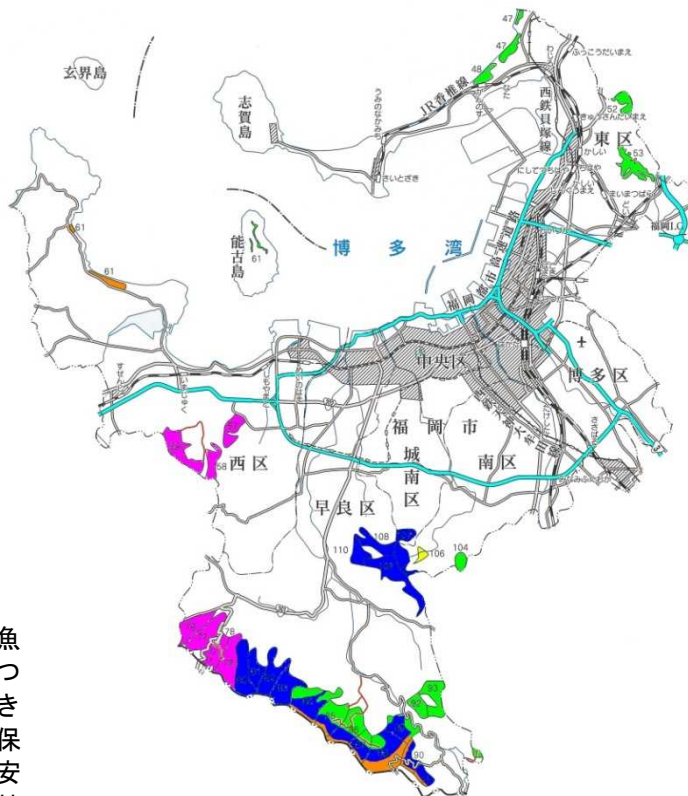
水源涵養タイプは、国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、渇水緩和や水質保全等の水源涵養機能を高めるため、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系や下層植生の発達が良好で諸被害に強い森林の整備を目標として管理経営を行うこととします。



福岡市の国有林

福岡市にある国有林は脊振山系及び海岸線に散在し、市の森林面積の21%を占めており、そのほとんどが保安林に指定されています。レクリエーションの森となっている立花山や油山は保健保安林や風致保安林に指定され、自然とのふれあい・憩いの場として都市住民の方々にとって、貴重となった豊かな自然を提供しています。

このほか、風害から生活を守る防風保安林、良質で安定的な水を供給する水源かん養保安林、魚の生息や繁殖を助ける魚つき保安林の指定がされており、森林の機能を最大限に発揮させるよう適切な管理が進められています。



魚つき保安林に指定されている「能古島」



山地災害防止タイプ	941.48ha	
自然維持タイプ	226.21ha	
森林空間利用タイプ	94.54ha	
快適環境形成タイプ	697.81ha	
水源涵養タイプ	506.67ha	

福岡市から水源かん養保安林に指定されている背振山を望む

(立拝山、椎原山国有林)



福岡市から立花山を望む

(香椎立花山国有林)



国有林の油山風致探勝林と一体化した油山市民の森



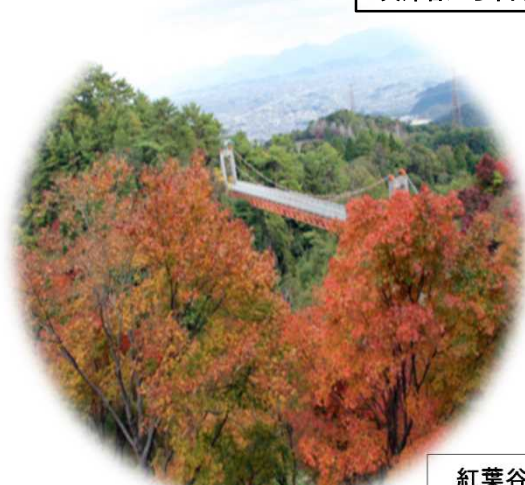
水の森にある白波の滝



夫婦岩から市内を望む



油山からの眺望



紅葉谷の吊橋



玄海国定公園に指定されて防風保安林
の「今津松原」
(長浜国有林)

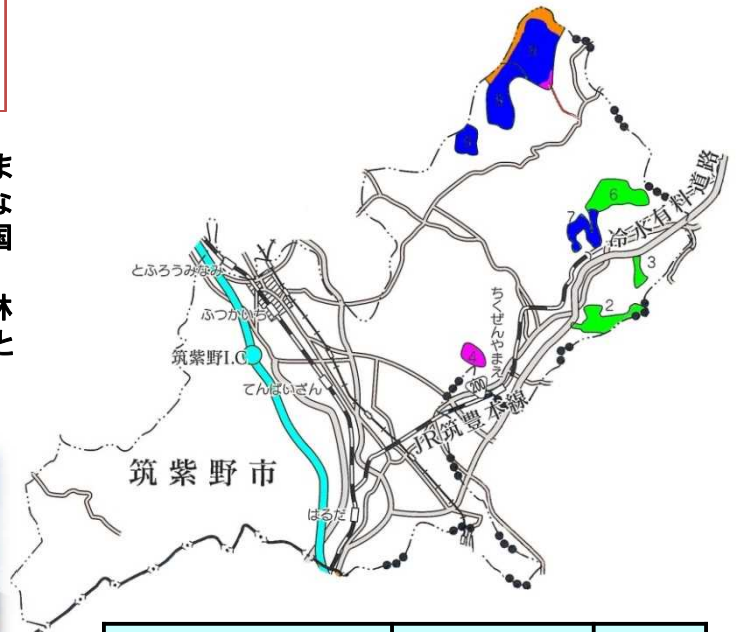


奈多植林会ボランティア植樹

筑紫野市の国有林

筑紫野市は福岡都市圏の温泉地として親しまれた二日市温泉があり、万葉の昔から緑豊かな保養と政治・文化の町として栄えてきました。国有林は、市の森林面積の約9%を占めています。

市の北側に位置する三郡山や宝満山の国有林は登山や森林浴など自然とのふれあいの場所として利用されています。



筑紫野市から三郡山を望む(三郡山国有林)

山地災害防止タイプ	215.01ha	
自然維持タイプ	50.55ha	
森林空間利用タイプ	0ha	
快適環境形成タイプ	33.14ha	
水源涵養タイプ	111.99ha	



宝満山と愛嶽山を望む(後田国有林ほか)



大根地山を望む(奥谷国有林)



九州最古といわれる「武尊寺」を中心とした天桂山歴中自然公園



国登録有形文化財の城山三連橋

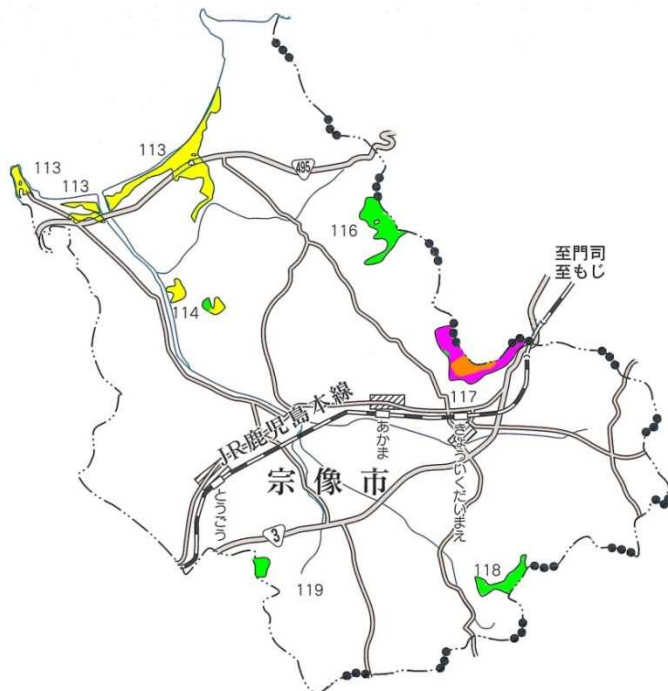
宗像市の国有林


宗像市にある国有林は、市の森林面積の約7%を占めており、岡垣町との境界にある孔大寺山、城山、宮若市との境界にある大平山、福津市との境界にある許斐山というように市の周辺部に位置しています。市の北西部には玄界灘に面して、さつき松原があり、防風・保健等の保安林に指定され重要な役割を果たしています。また、玄海風致探勝林に指定され、自然探勝、ハイキング等に利用されています。

宗像家の居城のあった城山は空間利用タイプに区分され、珍しい植物や野草の宝庫でもあり、国有林内には遊歩道が設けられ、自然に親しまれるようになっています。



宗像市から城山を望む(城山・狩倉国有林)



山地災害防止タイプ	0ha	
自然維持タイプ	21.8ha	
森林空間利用タイプ	168.27ha	
快適環境形成タイプ	47.16ha	
水源涵養タイプ	97.35ha	



玄海国定公園に指定されている「さつき松原」(下浜国有林)





今ヶ浦国有林に隣接する鎮国寺

太宰府市の国有林

太宰府市は太宰府政庁跡、太宰府天満宮をはじめ史跡名勝が多く、古くから文化・学問の町として栄えてきました。市の東方にある宝満山国有林は水源かん養保安林に指定され、一部は北谷ダムと接しており、市の森林面積の約10%を占めています。

また、宝満山は古くから霊峰として崇められ、山頂には巨岩と竈門神社があります。山頂からの眺望に優れていることから、多くの登山客で賑わっています。



山地災害防止タイプ	57.65ha	
自然維持タイプ	25.82ha	
森林空間利用タイプ	0ha	
快適環境形成タイプ	9.44ha	
水源涵養タイプ	21.18ha	



宝満山国有林下流の北谷ダム



太宰府市から宝満山を望む(宝満山国有林)



学問の神として知られる菅原道真を祀った太宰府天満宮

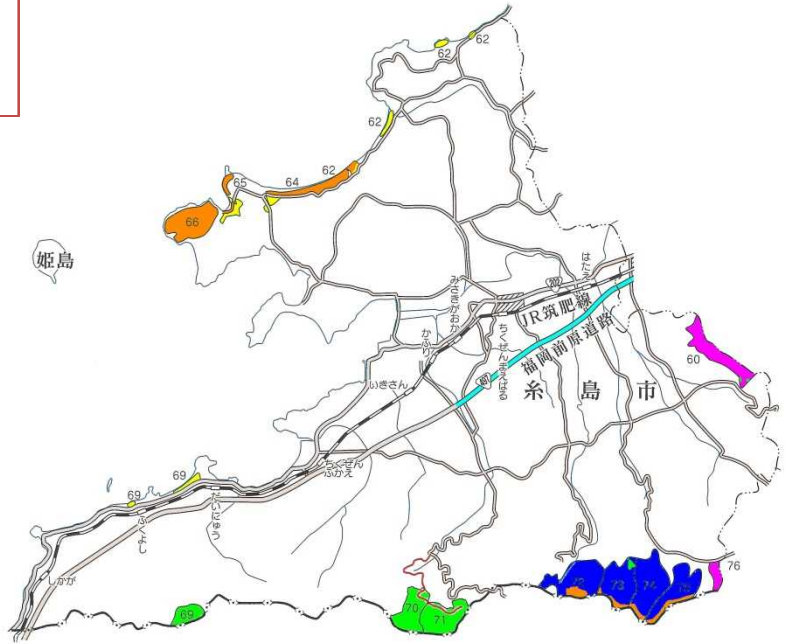


宝満山登山口にある宝満宮竈門神社

糸島市の国有林

糸島市にある国有林は、市の森林面積の約1%を占めており、市の南側には標高900m級の脊振山系が連なり、雷山等の国有林は水源かん養保安林に指定されており、下流にある瑞梅寺ダムの水源地として重要な役割を期待されています。

国有林内には雷山・井原山に通じる遊歩道が設けられており、多くの登山者で賑わっています。また、北側・西側の玄界灘に面した海岸林は防風・保健等の保安林に指定されています。



山地災害防止タイプ	424.80ha	
自然維持タイプ	259.79ha	
森林空間利用タイプ	48.73ha	
快適環境形成タイプ	114.68ha	
水源涵養タイプ	249.82ha	



山頂付近に「電波送信所」がある羽金山(大蔵山国有林)



芥屋大門(手前は大門国有林)



登山道周辺に群生するキツネノカミソリ

四季を通じて登山客で賑わう井原山(富士山国有林)



芥屋海水浴場から立石山を望む(自然維持タイプに指定されている大福国有林)



雷山を望む(雷山国有林)



玄海国定公園内の幣の松原(芥屋松原国有林ほか)



瑞梅寺ダム(多目的ダム)



防風保安林として植栽されたマツ(小金山国有林)



大蔵山国有林直下の白糸の滝

古賀市の国有林

古賀市にある国有林は、市の森林面積の約13%を占めており、市の東方に位置し、山地災害防止タイプと水源涵養タイプとして管理経営を行うこととしています。

下流には、中心に大きな池を抱えた、緑と水に親しむことのできる自然豊かな薬王寺水辺公園があり、その周辺には薬王寺の湯が湧き出しています。

市内随一の大社の五所八幡宮の境内にある樹齢1000年の大楠は、有名な妖精「ムーミン」にそっくりということで、ムーミンの木として有名です。



小野国有林を望む

山地災害防止タイプ	61.48ha	
自然維持タイプ	0ha	
森林空間利用タイプ	0ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	158.25ha	



小野国有林の下流にあるため池



薬王寺水辺公園から望む鬼京王国国有林

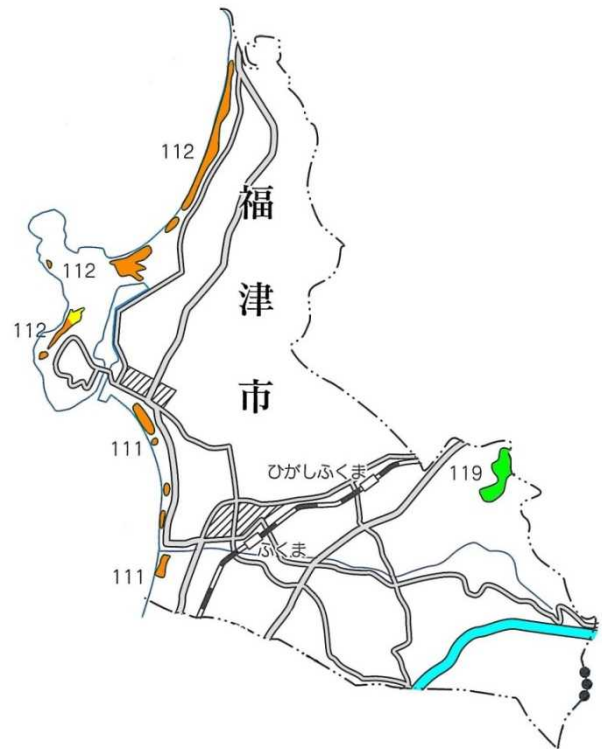


五所八幡神社の境内にある樹齢1000年の大楠(ムーミンの木)

福津市の国有林

福津市にある国有林は、市の森林面積の約5%とわずかですが、白石浜の弓状に続く海岸沿いの松林は防風・保健保安林に、市の東方に位置する許斐山は水源かん養保安林に指定されています。

許斐山（271m）は福津市と宗像市の境界に位置し、近くには史跡が数多くあります。頂上からの眺めも素晴らしく、遠くは玄界灘まで見渡すことができ身近な登山コースとして人気があります。



山地災害防止タイプ	0ha	
自然維持タイプ	29.71ha	
森林空間利用タイプ	28.92ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	21.90ha	



水源涵養タイプに指定している許斐山国有林



マツ林の林内の状況(下浜山国有林)



マツの植栽状況(新町国有林)



全国に鎮座する宮地嶽神社の総本宮



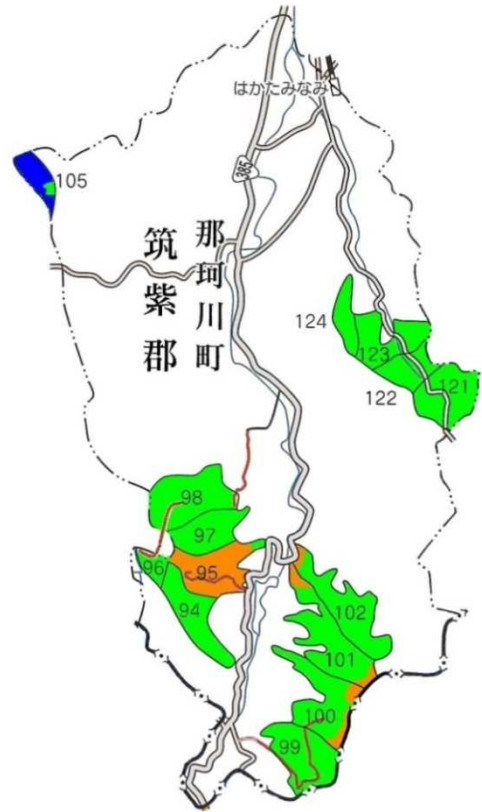
池尻国有林に隣接する白石浜


那珂川市の国有林

那珂川町の森林率は73%で自然豊かな町です。国有林は町の南部及び東部に位置し、町の森林面積の約23%を占めています。

町の南部には福岡市の水がめである五ヶ山ダム南畑ダムがあり、その上流にある国有林は水源かん養保安林に指定されており、水資源供給の重要な役割を期待されています。南畑ダムの両サイドと九千部山に接した部分を自然維持タイプと山地災害防止・水源涵養タイプに区分して管理経営を行うこととしています。

また、五ヶ山ダム周辺にはモンベルのキャンプ場等があり、シーズンには多くの家族やグループの人たちで賑わっています。



山地災害防止タイプ	40.39ha	
自然維持タイプ	144.02ha	
森林空間利用タイプ	0ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	1084.25ha	



五ヶ山ダムから望むの九千部国有林



五ヶ山ダム(多目的ダム)



南畑ダムから望む亀ノ尾国有林



中之島公園(親水公園)

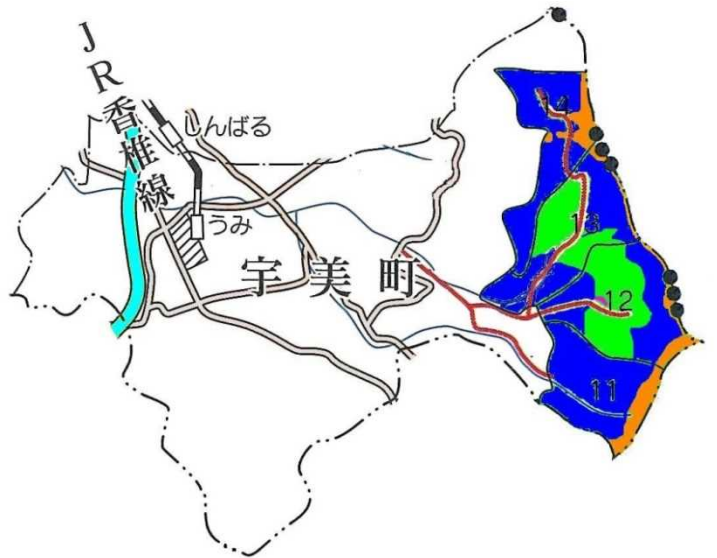



災害復旧工事(成竹林道)

宇美町の国有林

宇美町の国有林は町の東部の三郡山からシヨウケ越に連なる三郡山系に接して位置しており、町の森林面積の約37%を占めています。水源かん養保安林に指定されており、三郡山系の稜線に沿って保健保安林に指定されています。

森林自然公園「昭和の森」からの遊歩道も整備され、登山客や家族連れ等大勢の利用者で賑わっています。山地災害防止機能や水源かん養機能の発揮が期待されていることから、山地災害防止タイプと水源涵養タイプに、一部は保健機能が期待されていることから自然維持タイプに区分して管理経営を行うこととしています。



山地災害防止タイプ	408.99ha	
自然維持タイプ	86.31ha	
森林空間利用タイプ	0ha	
快適環境形成タイプ	2.76ha	
水源涵養タイプ	190.12ha	



三郡山・宝満山を望む



三郡山(宇美山国有林)



三郡山への登山道入り口にある昭和の森



宇美山国有林の川原谷上流にある難所ヶ滝



間伐整備された人工林(宇美山国有林)

篠栗町の国有林

篠栗町の国有林は町の森林面積の約15%を占めています。町の北東部にスギ・ヒノキの人工林を主体とした国有林が位置し水源かん養保安林に指定され、下流にある鳴淵ダムの水源地として重要な役割を期待されています。

町の南部、若杉山は信仰と伝説の霊山で、篠栗町が取り組んでいる「森林セラピー基地篠栗」の落陽コースは、国有林内を散策するコースとなっており、大和の森遊歩道や若杉山風致探勝林にも指定され、「森の巨人たち100選」に選ばれた巨木（若スギトウダの二又）をはじめ巨木があります。



山地災害防止タイプ	222.40ha	
自然維持タイプ	3.99ha	
森林空間利用タイプ	26.88ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	153.23ha	



若杉山



鳴淵ダム(多目的ダム)



ジャレ杉



綾杉



五剣の滝



はさみ岩



若スギトウダの二又



大和の大杉

落陽コースにある国有林の巨木



米の山からの眺望

須恵町の国有林

須恵町の国有林は町の森林面積の約19%を占めています。町の東部のショウケ越から若杉山、岳城山にかけての尾根から中腹に位置します。若杉山に登る遊歩道が整備され、ハイキングや森林浴等の利用者が多く親しまれています。

山地災害防止と水源かん養機能の発揮が期待されていることから、山地災害防止タイプと水源涵養タイプに、また、若杉山周辺の一部を森林空間利用タイプとして管理経営を行うこととしています。



山地災害防止タイプ	106.54ha	
自然維持タイプ	0ha	
森林空間利用タイプ	6.67ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	10.43ha	



須恵町側から若杉山を望む(新狩倉国有林ほか)



鮎婦国有林を望む



若杉山山頂周辺は森林空間利用タイプとして管理します。
(権現国有林)

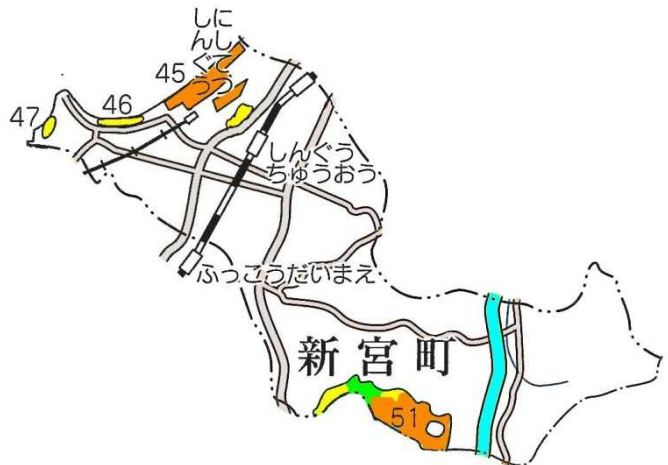


皿山公園にある歴史民俗資料館

新宮町の国有林

新宮町には北部の海岸線と南部の立花山に国有林が位置し、町の森林面積の約18%を占めています。北部の海岸林は「楯の松原」として玄海国定公園に指定されており、地元住民をはじめボランティアによる松原の再生・保護活動に取り組んでいます。

また、立花山にはクスノキ原生林があり、特別天然記念物に指定されています。立花山は遊歩道も整備され、ハイキング、ピクニック、森林浴等の利用者も多く親しまれています。そのため、自然維持タイプと森林空間利用タイプに区分して管理経営を行うこととしています。



山地災害防止タイプ	0ha	
自然維持タイプ	91.19ha	
森林空間利用タイプ	21.76ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	7.92ha	



新宮町から立花山を望む(立花山国有林)



クス原生林の「立花山遺伝資源希少個体群保護林」



玄海国定公園に指定されている「楯の松原」
(下府浜国有林ほか)



新宮中学校による白砂青松タイム



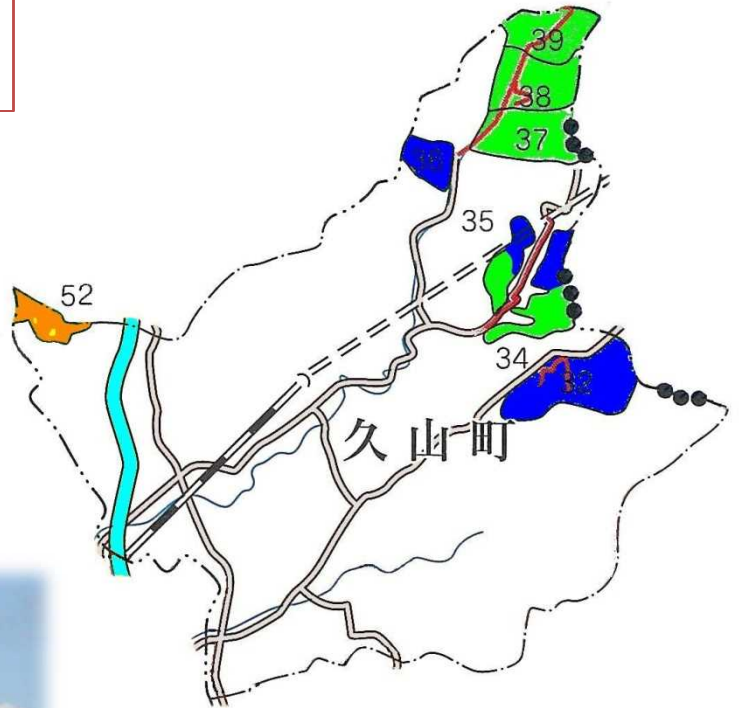
立花山近くの県指定 天然記念物の六所神社のかごの木



立花山近くの県指定史跡の梅岳寺

久山町の国有林

久山町の国有林は主に北東部に位置し、町の森林面積の約17%を占めています。北部の猪野山国有林には猪野川渓谷や豊かな自然が広がり、下流には猪野ダムがあります。上流域の国有林は水源かん養保安林に指定され、山地災害防止タイプと水源涵養タイプに。また、町の西部に位置する山田立花山国有林は、自然維持タイプと森林空間利用タイプに区分して管理経営を行うこととしています。



山地災害防止タイプ	160.56ha	
自然維持タイプ	17.74ha	
森林空間利用タイプ	3.5ha	
快適環境形成タイプ	0ha	
水源涵養タイプ	258.15ha	



久山町から立花山を望む(山田立花山国有林)



猪野ダム(多目的ダム)



猪野ダム上流の親水広場



猪野ダムから上流の下轟国有林を望む(水源涵養タイプ)



夏は水遊びで賑わう猪野川

福岡流域国有林（流域のデータ）

（第6次国有林野施業実施計画書より）

1 市町村別機能類型別面積

市町村名	市町村面積	市町村森林面積	森林率	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	国有林面積合計
福岡市	34,346	11,730	34%	940.99	224.50	93.75	685.45	498.03	2,442.72
筑紫野市	8,773	4,527	52%	214.19	47.32		33.14	111.50	406.15
宗像市	11,994	5,122	43%		21.80	165.74	45.52	97.35	330.41
太宰府市	2,960	1,193	40%	57.65	25.82		9.24	21.18	113.89
糸島市	21,570	10,132	47%	422.47	259.56	42.98	113.82	245.61	1,084.44
古賀市	4,207	1,635	39%	61.48				158.04	219.52
福津市	5,276	1,492	28%		29.35	28.24		21.90	79.49
那珂川市	7,495	5,429	72%	40.09	141.69			1,074.34	1,256.12
宇美町	3,021	1,852	61%	406.22	85.89		1.27	187.27	680.65
篠栗町	3,893	2,695	69%	219.69	3.84	26.02		151.79	401.34
須恵町	1,631	650	40%	105.78		6.15		10.43	122.36
新宮町	1,893	654	35%		91.04	21.55		7.92	120.51
久山町	3,744	2,615	70%	159.74	17.74	3.50		255.90	436.88
計	117,189	50,945	43%	2,628.30	948.55	387.93	888.44	2,841.26	7,694.48

2 保護林

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
希少個体群保護林	立花山クス遺伝資源	57.02	51に～と 52ろ～ろ2、へ、イ	クスノキ遺伝資源保存
	若杉山スギ	3.74	17る、る1、ふ	スギ老齢人工林を保護し学術研究等に資する
	城山タブノキ等 (注1)	21.40	117り、ら	シイ、タブその他広葉樹の天然林を保護し、学術研究等に資する

(注) 1 保護林の統合による名称変更

3 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由
風景林	立花山	54.51	福岡市・新宮町 久山町 (51以外)	玄海国立公園内において近接林分にはクスの原生林があることや遠望にも優れていることからハイキングやピクニック等の好適地となっている。
風致探勝林	油山	13.18	福岡市 (106以外)	福岡市の中心部に近く地理的に恵まれており、天然林を主とした林分が隣接する市民の森と一体化した風致景観を呈し、市民の憩いの場として親しまれている。
	若杉山	32.22	篠栗町・須恵町 (17以外)	近接する若杉山保護林と一体となって老齢のスギ林分が優れた景観を呈しており、隣接民有地にある札所への参詣者や登山者、ハイカー等に親しまれている。
	玄海	134.29	宗像市 (113以外)	玄界灘に面した海岸松林が優れた景観を呈しており、風致鑑賞や海水浴客等の憩いの場として親しまれている。

4 フィールドの提供

対象地（林小班）	市町村	設定の目的	備 考
48は、は1	福岡市	ふれあいの森	平成13年5月9日協定 奈多植林会
91い、そ、96い1	福岡市	遊々の森	平成16年8月26日協定 福岡市長
64い、ろ、ろ1、は、ほ、へ	糸島市	多様な活動の森	平成25年10月1日協定 地域ネットワーク「黒浜つなぎ隊」
76い、ろ1、は1	福岡市	多様な活動の森	平成26年4月10日協定 背振の自然を愛する会

5 保安林・自然公園等

種類	区 分	面積(ha)	種類	区 分	面積(ha)
保 安 林	水源かん養保安林	6,865.70	国 定 公 園	第一種特別地域	514.72
	土砂崩壊防備保安林	102.16		第二種特別地域	64.05
	防風保安林	393.41		第三種特別地域	338.46
	潮害防備保安林	(6.15)		普通地域	10.70
	魚つき保安林	6.42		計	927.93
	航行目標保安林	0.40(13.17)	都 道 府 県 立 自 然 公 園	第一種特別地域	278.09
	保健保安林	154.16(683.25)		第二種特別地域	192.65
	風致保安林	0.38(11.18)		第三種特別地域	562.35
	計	7,522.63		普通地域	3,960.22
				計	4,993.31
鳥獣保護区	特別保護地区	102.09			
	普通地区	2,112.66	史跡名勝天然記念物指定地		52.59

注 保安林の計は、種類ごとの重複関係を除く面積を「計」として計上

()は兼種保安林で重複

6 地元施設等の現況

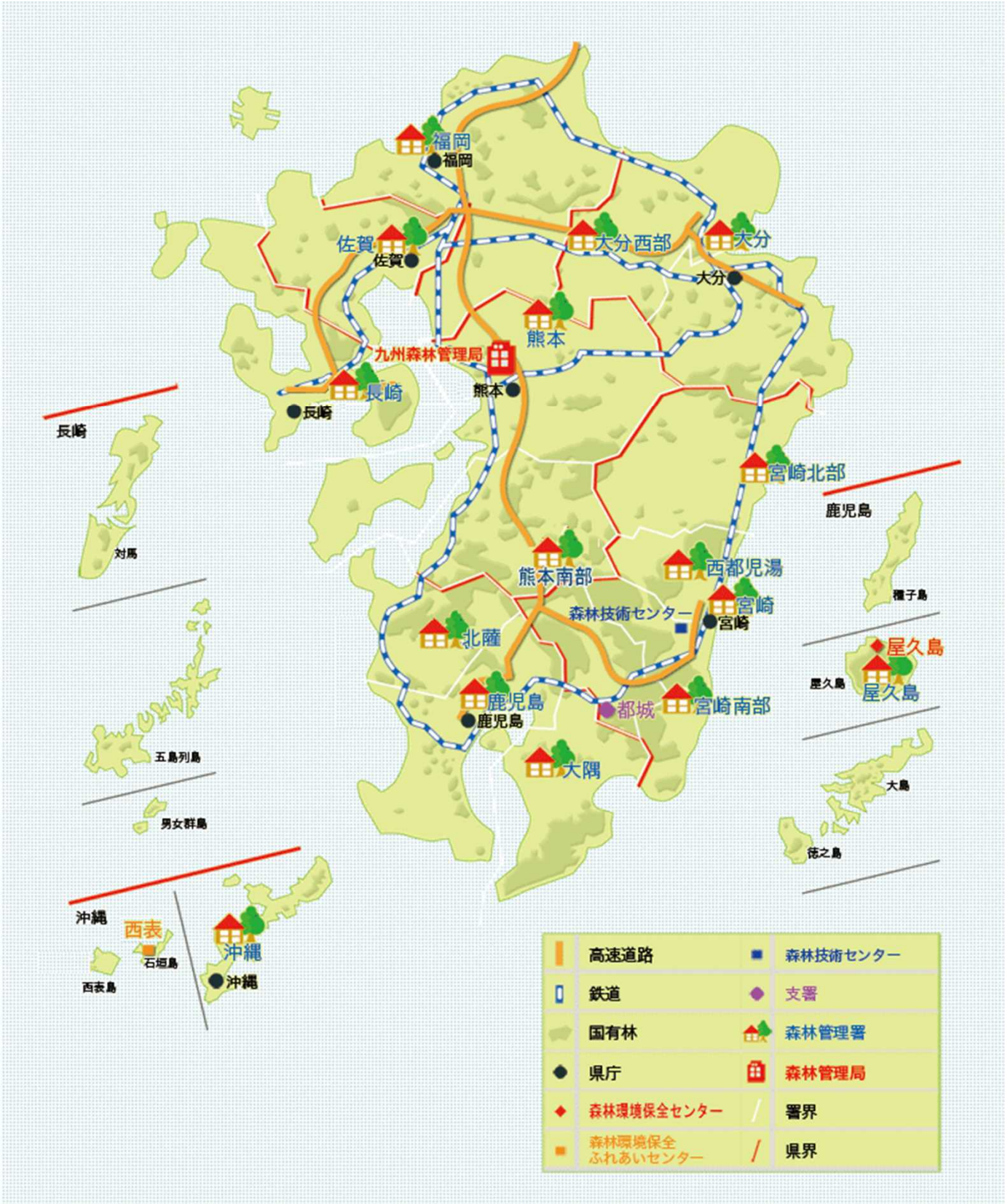
分収林契約面積

区 分	面積(ha)
分収造林契約に基づく分収林	291.32
分収育林契約に基づく分収林	56.28

貸付地の用途別面積

用 途	面積(ha)	用 途	面積(ha)
農耕用地	2.02	学校用地	8.53
道路用地	31.42	建物用地	0.70
水路用地	0.65	その他貸地	13.37
電気事業用地	6.91	計	63.60

九州森林管理局管内図



局 署 所 在 地

森林管理局署等名	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号
九州森林管理局	860-0081	熊本市西区京町本丁2-7	096 (328) 3500	096 (328) 7062
福岡森林管理署	814-0006	福岡市早良区百道1-16-29	092 (843) 2100	092 (851) 5904
直方森林事務所	822-0002	直方市大字頓野3952-2 (合同)	0949 (26) 4041	0949 (26) 4042
若宮森林事務所			0949 (26) 4100	
新宮森林事務所	811-0112	糟屋郡新宮町下府7-1-14	092 (962) 0049	(FAX兼用)
太宰府森林事務所	818-0125	太宰府市五条1-15-3	092 (922) 4040	(FAX兼用)
早良森林事務所	811-1102	福岡市早良区東入部6-25-9	092 (804) 2829	(FAX兼用)
彦山森林事務所	824-0602	田川郡添田町大字添田1319-2	0947 (82) 0185	(FAX兼用)
小石原森林事務所	838-1601	朝倉郡東峰村大字小石原941-8	0946 (74) 2202	(FAX兼用)
矢部森林事務所	834-1401	八女市矢部村北矢部10511-1	0943 (47) 2070	(FAX兼用)
合河森林事務所	828-0074	豊前市下河内356-1	0979 (88) 2015	(FAX兼用)

◎福岡森林管理署の沿革

- 明治19年 大小林区署制制定により福岡大林区署が設置
- 大正13年 営林署官制公布により福岡営林署に改称
- 平成10年 福岡営林署と直方営林署が統合、直方は森林管理センターとなる
- 平成11年 組織の再編により、福岡森林管理署となる
- 平成16年 直方森林管理センターを廃止



【表紙】立花山の 大クス

立花山国有林は林内にクスの群生地(樹齢300年以上)の北限といわれる原生林があり、国の特別天然記念物と「森の巨人たち100選」に選ばれている大クスは、樹齢300年以上・幹周 7.85m・樹高30mとなっている。



(令和2年度作成)